

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26~27年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
P20 基本施策(1)	【新規】 広報紙、ホームページなど での孤立死に対する意識啓 発	広報紙、ホームページなどにおいて 啓発記事を掲載することで、行政と 市民とが一緒に孤立死について考 え、予防につながるよう積極的な啓 発を行います。	情報課	◎	担当課等からの依頼により、広報紙面 に、孤立死に関するコラムを掲載す るなど、啓発に取り組んでいます。	継続	引き続き、担当課等と連携しながら、 情報発信に努めます。
P20 基本施策(1)	緊急通報システム事業	ひとり暮らし高齢者、75歳以上高齢 者世帯などを対象に緊急通報機器な どを設置し、急病、事故などの緊急 事態に緊急通報センターを通して、 速やかな消防署による救助及び援助 につなげることで、日常生活上の不 安を軽減します。	長寿課	◎	平成27年度から機器の種類を増やし、 センサー付の緊急通報機器を導入し て見守り機能を強化しました。 平成28年2月末現在 従来型：138人 センサー型：20人	充実	対象者の範囲を広げ、利用者数の増加 を目指します。
P20 基本施策(1)	乳幼児健康診査、パパママ 教室、育児教室	妊娠期から出産後の乳幼児期、その 後の子育ても含め継続的に適切な情 報提供を行うとともに、保護者の育 児上の不安や悩みを話し合える場を 提供し、楽しく子育てができる環境 をつくります。	健康推進課	◎	健康診査、教室とも計画どおりに実施 し、子育て環境整備に努めています。	継続	回数の増加するなど、より受診及び参 加がしやすいような工夫に努めます。
P22 基本施策(2)	【新規】 支え合いマップの作成	実際に地域に住む人が、地域に困っ ている人がいるのか、どのような人 のつながりや支え合いがあるのかを 再確認し、地域の見守り体制の充実 を図ります。	福祉施策室	◎	平成26年度、27年度において、各4 地区においてマップづくりを行い、地 域課題解決に向けた取り組みを継続し ています。	改善	マップづくりをとおした地域におけ る取り組みを拡大するため、職員にたい するマップづくりインストラクター 研修の実施等の体制強化を検討しま す。
P22 基本施策(2)	広報紙配達時の状況確認	広報紙の配達時に、郵便物があふれ ているなど、異変を認識した際には 報告してもらいます。	情報課	◎	広報紙の配達時に、異変を認識した際 には報告するように、各配達員には、 周知しています。	継続	今後も配達員と連携を図りながら、見 守り活動に協力していきます。

平成27年度長久手市地域福祉計画 事業評価シート（基本目標1 みんなが「気づく」きっかけ、場があるまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26~27年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
P23 基本施策(2)	「長久手市地域見守り活動協定」の締結	新聞販売店や郵便局、宅配業者など見守り活動協定を締結し、地域住民の異変情報を提供してもらいます。	安心安全課	◎	現在、71事業者と協定を締結し、締結業者を対象に年2回程度意見交換会を実施しています。	継続	今後締結業者をさらに拡大していきます。
P23 基本施策(2)	【新規】 野菜配布事業	農楽校事業で収穫した野菜を一人暮らし高齢者家庭へ配布することで、見守りを行います。	産業課	×	実施できていません。	改善	福祉団体や農家に対し、野菜配布事業の提案をしていく中で、農楽校としての野菜配布ではなく、受講生や農楽校のイベントなどを利用した野菜配布の取組を検討中です。
P23 基本施策(2)	行方不明高齢者保護ネットワーク	徘徊し、行方不明になった高齢者を地域の支援を得て早期に発見できるよう、一斉メール送信システムを活用した協力機関の支援体制を構築します。	長寿課	◎	行方不明者の恐れのある登録者数は30名で増加傾向にあり、周知が進んでいます。これまで、全ての案件で行方不明者をの発見できています。	充実	メール登録者（受信者）の数が伸び悩んでいることから、登録者数の増加に向けたPRの強化を行います。
P23 基本施策(2)	行方不明者の発見保護協力依頼事業	子ども、障がい者や高齢者などの行方不明者の速やかな発見、保護に向けて、警察、関係機関や関係課相互の連携の強化及び一元化を図ります。	安心安全課	◎	各課・機関との連携強化を図るため年1回連絡会議を実施しており、今年度は7件の対応事例がありました。	継続	今後も各課・機関と連携を図りながら行方不明者の迅速な発見対応をしていきます。
P23 基本施策(2)	徘徊高齢者等家族支援事業	徘徊癖のみられる認知症の高齢者などを介護する家族に「発信機」を貸し出し、徘徊時の迅速な位置検索、保護を目指します。	長寿課	◎	発信機を使用した行方不明者の捜索模擬訓練を実施し、機器の実用性を再確認しました。	継続	事業利用者が増加しないため、周知をしていきます。
P25 基本施策(3)	母子保健事業（こんにちは赤ちゃん訪問、乳幼児家庭訪問）	3～4か月児健診受診前の乳児を対象に家庭を訪問し、養育環境の把握や助言を行い、必要に応じて適切なサービス提供に結びつけます。また、育児相談や発達や発育について確認を必要とする家庭を訪問し、生活の場合った保健指導を行います。	健康推進課	◎	計画的な訪問により、必要に応じた適切なサービス提供、保健指導を行っています。	継続	産後だけでなく、妊娠期から産後の育児まで切れ目ない支援の体制整備に努めます。

平成27年度長久手市地域福祉計画 事業評価シート（基本目標1 みんなが「気づく」きっかけ、場があるまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26～27年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
P25 基本施策(3)	【新規】 5歳児健康診査事業	支援の必要な発達障がい児を保護者アンケートや相談事業を通して早期に発見し、就学への移行が円滑かつ適切にできるよう支援する体制を整備します。	健康推進課	○	平成26年度から開始。アンケート返却は約7割、個別相談や園訪問に取り組んでいます。	継続	事業の認知度の向上と関係機関との連携強化に努めます。
P25 基本施策(3)	【新規】 保健師地域活動	日常的に保健師が地域に出かけ、直接、住民と対話することで、地域のニーズ、課題を認識します。	健康推進課	○	「まちの保健師」として共生ステーションや児童館に出向いて健康相談を実施しているが、地域の課題抽出までには至っていません。	継続	継続して保健師が地域に出向き、課題抽出に取り組みます。
P25 基本施策(3)	国民健康保険 (被保険者実態調査)	国民健康保険証・通知などの未着世帯訪問の際、安否などを確認し、関係課と情報共有します。	保険医療課	○	【国保納税通知書未着世帯】5件訪問 本人との面会はできませんでした。 【国保保険証未着世帯】7件訪問 本人との面会はできませんでした が、居住の模様を確認できました。	改善	未着世帯の居住確認のため実施する現地調査の結果情報を関係課（収納課・市民課など）で共有し、対応を協議できるような体制を構築につとめます。
P25 基本施策(3)	後期高齢者医療 (臨戸訪問徴収)	保険料滞納、後期高齢者医療保険証・通知などの未着世帯訪問の際、安否などを確認し、関係課と情報共有します。	保険医療課	○	H27.4月：訪問対象者数20件 当日接触5件、後日接触14件 H28.2月：訪問対象者数28件 当日接触15件、後日接触4件	充実	訪問頻度を増やし、滞納世帯の現況確認を定期的に行い、長期間未接触となる世帯や生活困窮等の兆候がある世帯については長寿課、収納課、市民課と連携して現況確認をしていきます。
P25 基本施策(3)	女性消防団員高齢者宅防火診断	一人暮らしの高齢者宅を訪問して火災予防を呼びかけ、家庭内の防火診断を実施することで、安否の確認などを行います。	消防本部 総務課	○	計画的に防火診断を行っていますが、一部の希望者(46名中4名)との防火診断実施期間内での日程調整ができず実施できていません。	改善	対象者の大幅な増加があったため、これまで実施してきた計画では、1年間で防火診断を終えることが困難であるため、年間計画を作成。実施要領についても見直しを行います。





平成27年度長久手市地域福祉計画 事業評価シート（基本目標2 みんなが「つながる」楽しさを知るまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26~27年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
P27 基本施策(4)	地域共生ステーション事業	市民が集まり、語り、地域のための取組を行う拠点となる地域共生ステーションを各小学校区に整備し、地域の課題を地域で考え地域で取り組むまちづくりを推進します。	たつせがある課	◎	北小学校区では、部会を5回、北ステファスタや宿題イベント、おためし会等、ステーション開設に向けたソフト面の取り組みを行っていました。 南小学校区では、まちあるきを1回、南のステーション検討会を3回実施しました。 市が洞小学校区では、ワークショップを1回実施、3月に2回実施しており、市民の意見を設計に取り入れます。	継続	引き続き、地域共生ステーションを各小学校区に整備するにあたり、市民ワークショップ等を実施します。
P27 基本施策(4)	【新規】 集会所などの既存施設を 拠点とした孤立死防止対策 事業	地域共生ステーション、集会所などに地域住民が交代で常駐し、地域のコミュニケーションの場を提供します。いずれは、一人暮らし高齢者の見守りやごみ出しなどの軽作業を手伝う活動として広がっていきます。	たつせがある課	△	地域共生ステーションにおいては、スタッフが常駐しいつでもだれもが気軽に立ち寄れるコミュニケーションの場を提供しています。	改善	各小学校区に整備する地域共生ステーションを拠点とする「まちづくり協議会」の設立を進めているため、その中で事業実施を検討します。
P27 基本施策(4)	【新規】 保育園地域交流事業	保育園の「誕生日会」や「園開放」などの行事に、地域の65歳以上の高齢者を招き、園児と一緒に楽しく過ごす時間を設けます。	子育て支援課	◎	平成27年度10月より「保育園おたすけたい」を実施。現在市立6保育園にて登録者数43名。保育園の園庭整備や散歩の付き添い、行事における保育補助等にご活躍いただいています。	継続	事業の登録者数を徐々に増やしつつ、様々な活動を通して、園児と高齢者の交流を図る等、多世代による地域の子育て環境を育成します。
P27 基本施策(4)	行方不明者の発見保護協力 依頼事業（再掲）	子ども、障がい者や高齢者などの行方不明者の速やかな発見、保護に向けて、警察、関係機関や関係課相互の連携の強化及び一元化を図ります。	安心安全課	◎	各課・機関との連携強化を図るため年1回連絡会議を実施しており、今年度は7件の対応事例がありました。	継続	今後も各課・機関と連携を図りながら行方不明者の迅速な発見対応をしていきます。

平成27年度長久手市地域福祉計画 事業評価シート（基本目標2 みんなが「つながる」楽しさを知るまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26~27年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
P27 基本施策(4)	児童館事業	18歳未満の子どもを対象とし、遊びや生活の援助と地域における子育て支援を行い、子どもを心身ともに健やかに育成します。	子育て支援課	◎	全6館での入館者数は89,985人(H26年度)で、同年齢、異年齢の子どもたちが日常の遊びや行事を通して利用しました。また、幼児教室を全108回開催、一般行事として、陶芸教室、料理教室、人形劇観賞会等の全体行事及び工作、ゲーム等の行事を合計724行事開催し、総参加者数は14,089人でした。児童館まつりを市内3箇所で開催し、約1,500人の参加がありました。子どもたちに健全な遊びを与え、交流を深め、児童館の存在や活動内容に関心を深めました。	継続	児童館を地域における子育て支援の拠点とするとともに子どもの健全育成の場とします。 地域のボランティアと共に進める児童館活動の推進を図ります。 児童館連携を基本目標として、児童館が地域の子どもの居場所となるよう、事業を継続します。
P27 基本施策(4)	【新規】 在宅医療福祉連携事業	地域包括ケアシステムの一部を担う、在宅医療と介護職などの連携を円滑にするため、電子連絡帳の導入などを推進します。	長寿課	◎	電子連絡帳施設登録状況：111施設、電子連絡帳患者登録状況：343件(H28.1月現在)。今後も電子連絡帳を活用した連携をすすめていきます。	継続	電子連絡帳の広域的な活用に向けて取り組みます。
P28 基本施策(4)	【新規】 徘徊高齢者搜索模擬訓練	自治会、地域団体などの協力を得て、徘徊高齢者の搜索訓練を実施します。	長寿課	○	平成26年度から訓練を実施し、市民にスタッフとして参加いただき、また事業所の方にも訓練の際の立ち寄り先として参加いただいています。	充実	自治会等との連携が図れていないため、より幅広い連携を図り、訓練の実施ができるよう取り組みます。
P32 基本施策(5)	障がい者相談支援事業	障がい者の困りごと全般の相談を受ける窓口として、内容によって必要な制度やサービスの利用につなげ、障がい者の自立した生活を支えます。	福祉課	◎	平成26年度から人員を増員し、本年度も継続して事業を実施。利用者の実人数や延べ件数ともに前年度と同程度であるが、周知が進んでいる。	継続	事業は継続しつつ、更なる周知を広げていく予定。また、きめ細かい対応が必要な利用者が増えていることから、丁寧な支援の実施が必要。

平成27年度長久手市地域福祉計画 事業評価シート（基本目標2 みんなが「つながる」楽しさを知るまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26~27年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
P32 基本施策(5)	【新規】 生活困窮者自立促進支援事業	生活困窮者が深刻な状態になる前に包括的、継続的な自立支援を行います。平成25・26年度はモデル事業として、自立相談支援事業と就労訓練事業を行います。	福祉課	◎	平成26年度からモデル事業に取り組み、その経験と実績から円滑に平成27年度からの本事業に移行できました。平成27年度からは家計相談支援事業就労準備支援事業を新たに開始し支援の充実を図っています。	充実	平成28年度には、新たに、学習支援事業および困窮者の早期発見のために個別訪問調査を実施を予定しています。
P32 基本施策(5)	子育て支援センター事業	親子の交流の場の提供、子育てなどに関する相談・援助の実施、地域の子育て関連情報の提供、子育てに関する講習会などを実施します。	子育て支援課	◎	平成26年度は、入館者数22,062人、家庭児童相談室の相談件数252件、子育て情報誌の発行を6回、子育てに関する講習会参加者数2,822人でした。	継続	子育て支援事業の周知、内容の見直し等を行い、子育て支援事業の充実を図ります。
P32 基本施策(5)	要保護児童対策事業	要保護児童の適切な保護、要支援児童及び特定妊婦への家庭訪問、面接など適切な支援を行います。	子育て支援課	◎	平成26年度は、要保護児童15人、要支援児童27人、特定妊婦3人、合計45人に対して、児童の保護、家庭訪問、面接などの支援を行いました。	継続	児童虐待防止に関する市民への周知、関係機関との連携、相談担当者の資質向上等により、支援体制の充実を図ります。
P33 基本施策(5)	母子保健事業 (健診事後教室、子育て相談)	健診などにおいて、言葉の遅れや落ち着きのなさなどがみられる児童及び育児支援が必要な保護者に対して、相談や助言を行います。乳幼児の保護者に対して、育児や発育・発達に関する相談に応じ、個別に必要な指導、助言を行います。	健康推進課	◎	健診事後教室「たんぽぽ教室」・子育て相談とも各年24回開催しました。	継続	より利用しやすい教室・相談になるよう推進していく。
P33 基本施策(5)	精神保健福祉事業 (こころの相談)	精神障がい者及びその家族などからの相談に応じ、医療機関の紹介や支援が必要な者に対しては適切なサービスが受けられるように支援します。	健康推進課	○	4月と5月に精神保健福祉士の雇用が確保できませんでした。	継続	継続的に精神保健福祉士の雇用ができるように努め、適切なサービス提供支援に努めます。



平成27年度長久手市地域福祉計画 事業評価シート（基本目標2 みんなが「つながる」楽しさを知るまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26~27年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
P36 基本施策(6)	市民を守る地域活動検討会議	職員や市民、事業者が連携した「見守り」の体制を確立するための新規取組の実施に向けた調整、検討を行います。	安心安全課	◎	「見守り」体制を検討する中で、市内事業者等と「地域見守り活動協定」事業を実施することとしました。現在、協定締結業者は71になり、締結業者を対象に年2回程度意見交換会を実施しています。	継続	今後、締結業者の更なる拡大に努めていきます。
P36 基本施策(6)	【新規】 地域福祉に関する情報システムの活用	地域福祉の推進にむけた情報システムの活用を図ります。	情報課	◎	ホームページにおけるアクセシビリティの徹底を図るために、研修を実施しました。	継続	今後も他市町村等の状況を参考にしながら、情報システムの活用を進めていきます。
P36 基本施策(6)	認知症サポーター養成講座	地域において認知症に関する正しい理解を深め、支援を充実させるための講座を実施します。	長寿課	◎	市内の小学5年生と中学2年生に認知症サポーター養成講座を開講しました。また、市民、市内事業者、市役所職員に対してもサポーター養成講座を行い、日常生活や仕事の中で認知症の方に正しく接することができる「認知症にやさしいまちづくり」に取り組んでいます。	継続	市内の事業者に対してサポーター養成講座を積極的に開講し、「認知症にやさしいお店」の登録店舗の増加を狙います。
P36 基本施策(6)	ファミリーサポートセンター事業	子育て中の親が、仕事と育児を両立し、安心して子育てができる環境をつくります。	子育て支援課	◎	平成26年度は、会員登録講習会を6回開催、登録会員数は援助会員83人、依頼会員538人、両方会員130人、合計751人、依頼件数は2,727件でした。会員相互の睦みを図るための交流会を1回、援助会員向けのフォローアップ研修会を2回開催し、安心して子育てができる環境づくりに継続して取り組んでいます。	継続	ファミリーサポートセンター事業の周知に努め、登録会員数の増加を図ります。特に援助会員数の増加に努め、事業の円滑な実施を図ります。



平成27年度長久手市地域福祉計画 事業評価シート（基本目標3 みんなに「届く」安心なまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26～27年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
P38 基本施策(7)	【新規】 ごみの訪問収集	自らごみを収集場所に持ち出すことが困難な方を対象に個別の訪問回収を行うことにより、地域の見守り体制が確立できるよう検討します。	環境課	×	市のワンコインサービス事業や、長久手市シルバー人材センターのサービスを使い、ごみ出しの依頼をすることができるため、実施していません。	廃止	既存のサービスの周知に努め、本事業は廃止します。
P38 基本施策(7)	福祉有償運送事業	高齢者、障がい者などの移動制約者の移動手段として、NPO法人などによる実費の範囲内での移送サービスを支援します。	福祉課	◎	平成27年度に、事業者のドライバー不足を解消するため、ボランティアドライバーの育成を目的としたドライバー認定講習会を開催し、18名が受講、認定されました。	継続	平成28年度においてもドライバー認定講習会を開催し、ボランティアドライバーの育成を図り、事業の拡充を目指します。
P38 基本施策(7)	障がい者通所事業	障害者総合支援法に基づき、民間法人への指定管理により通所事業所を運営します。	福祉課	◎	指定管理事業が開始し、2年目であるが、利用者にはアンケートを実施し、高い評価を得ており、良好な運営状態です。	継続	平成28年度中に指定管理者の再選定を実施し、平成29年度からの開始を予定しています。 利用者アンケートや報告書を参考としてより充実した事業所運営のための募集要項を検討します。
P38 基本施策(7)	ワンコインサービス事業	在宅高齢者に対し、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、軽度な日常生活の援助をワンコイン(100円または500円)で行います。 サービス提供者も元気な高齢者であり、地域住民によるボランティア活動の推進を図ります。	長寿課	◎	平成26年度の登録者65人、サービス提供者3団体27人で、延利用件数は177件でした。 平成27年度は、2月末までで、登録者115人、サービス提供者4団体41人で、延利用件数は258件です。	充実	利用者・サービス提供者ともに増加を目指し、サービス提供者との意見交換会を行いながら、総合事業への移行も視野に入れ、事業内容の改善・充実を図ります。
P39 基本施策(7)	【新規】 病児・病後児保育事業	児童の病気時や回復期で集団保育が困難であり、保護者も就労などで保育できない時に利用できる保育サービスとして、病児・病後児保育を実施します。	子育て支援課	◎	平成26年5月より、病院併設の病児・病後児施設を市外に1か所と、保育園併設の病後児保育施設を市内に1か所開設。平成27年度も引き続き上記2か所で開設しています。	継続	新入園児の保護者など、病児・病後児保育事業の広報に努めます。

平成27年度長久手市地域福祉計画 事業評価シート（基本目標3 みんなに「届く」安心なまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26~27年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
P39 基本施策(7)	成年後見センター事業	尾張東部成年後見センターへの委託により、判断力が不十分な認知症の高齢者、知的障害や精神障害のある方の財産や権利を守るための無料相談を実施します。	長寿課	◎	平成26年度の首長申立件数は、高齢者3件、平成27年度の首長申立件数は、高齢者0件です。	継続	引き続き、市民後見人の養成に向けた研修等を行っていきます。
			福祉課	◎	無料相談会については毎月1回、定期的に実施するとともに、相談についても電話等にて随時受け付けています。	充実	市民後見人を養成するため、平成27年11月~12月に市民後見人養成に向けた説明会を開催しました。今後は、随時養成講座を開催し、市民後見人の育成を推進します。
P41 基本施策(8)	介護予防事業	高齢者が住み慣れたまちでいきいきと元気に過ごしていくために、運動、口腔、栄養、閉じこもり、認知の5つの項目に重点を置いた事業を実施し、要介護・要支援状態になることを防ぎます。	長寿課	◎	市内2カ所の地域包括支援センターへ業務委託し、あったか昼食会、筋力向上トレーニング事業、アクア教室、口腔ケア教室、栄養改善教室等が実施されています。	改善	平成28年度は、引き続き同じ内容で介護予防教室を実施します。介護保険の改正による新しい総合事業への移行に向け、さらに効果的な介護予防につながるよう、事業内容の見直し・再編を行います。
P41 基本施策(8)	家事援助型ホームヘルパー派遣事業	家事などが困難で、日常生活を営むのに支障があるひとり暮らし高齢者や後期高齢者世帯に対し、家事援助を行うホームヘルパーを派遣します。	長寿課	◎	平成26年度は45分未満の利用回数が22回、60分未満の利用回数が88回であり、利用者数は最高で月4名でした。平成27年度は内2名が要介護認定を受け、利用中止しました。利用回数・利用者数ともに減少しています。	改善	介護保険の改正による新しい総合事業への移行に伴い、平成28年10月から廃止も含めて見直しをする予定です。
P41 基本施策(8)	家具転倒防止事業	地震などでタンスや家具などの転倒による人的被害の発生を防止するため、家具転倒防止器具にかかる費用を助成します。	長寿課	◎	平成26年度は、3世帯8組の取り付けがありました。平成27年度からは取付組数の上限を撤廃し、2月末までで、12世帯34組の取り付けがありました。	継続	引き続き、周知に努めます。

平成27年度長久手市地域福祉計画 事業評価シート（基本目標3 みんなに「届く」安心なまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26~27年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
P42 基本施策(8)	高齢者住宅改修事業補助金	手すりの設置や床の段差解消改修など、自宅の改修への補助金を支給します。	長寿課	◎	平成26年度は5名、平成27年度は2月末現在で8名に補助金を交付しました。事業の周知が進み、問合せの件数も増加しています。	継続	引き続き、周知に努めます。
P42 基本施策(8)	高齢者日常生活用具給付金	寝たきりやひとり暮らし高齢者などを対象に、介護保険のメニューにはない電磁調理器の給付などを行います。	長寿課	◎	平成26年度は2名、平成27年度は2月末現在で1名の利用がありました。	充実	事業の周知を進めるとともに、市内の高齢者の情報収集に努め、電磁調理器の必要な人に事業の案内を行います。
P42 基本施策(8)	高齢者防犯対策事業	高齢者宅への侵入盗などによる犯罪被害を防止するため、センサーライトの取り付けを推進します。	長寿課	◎	平成26年度は11名、平成27年度は2月末現在で8名の利用がありました。	継続	引き続き、周知に努めます。
P42 基本施策(8)	【新規】 グループホーム運営支援	障がいのある方が、安心して生活できる環境を整えるため、生活の場としてのグループホームの確保に努めます。認知症高齢者グループホームとの連携も検討します。	福祉課	◎	平成27年度障がい者自立支援協議会の福祉サービス支援部会において、「住まい」に関して作業部会を立ち上げました。	充実	生活の場であるグループホームのどのようにすれば確保できるのか作業部会を実施し、施策等の検討します。
P42 基本施策(8)	【新規】 児童発達支援センター設置事業	障がいがある児童に対して、より充実した療育を実施するとともに、保護者が集い、情報交換などができる拠点となる施設を整備します。	子育て支援課	○	平成27年度中に、障がい者自立支援協議会児童教育部会を3回実施し、児童発達支援センターの整備に当たって必要となる療育支援体制の構築について検討・協議を行いました。	継続	平成28年度から、上郷保育園改築事業の手始めとして策定する基本構想において、児童発達支援センターの施設整備の検討を行う予定です。



平成27年度長久手市地域福祉計画 事業評価シート（基本目標3 みんなに「届く」安心なまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26~27年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
P45 基本施策(9)	ながくて幸せのモノサシづくり	市民一人ひとりが生活や地域社会の豊かさなどを測る新しいモノサシを持ち、市民と職員が協働して、課題解決するための仕組みづくりを行います。	経営管理課	○	平成26年度は、市民11人、職員10人による「幸せ実感調査隊」でアンケート結果の報告書を作成。平成27年度は、市民21人、職員11人で「幸せ実感広め隊」WSを9回行い、述べ160人が参加。長久手の幸せづくりにつながる活動に取り組む市民やグループ8団体取材し、7団体を紹介しました。	継続	「幸せ実感広め隊」活動において、長久手の幸せづくりにつながる活動を紹介することで、「幸せのモノサシづくり」への参加と理解を広め、まちづくりを推進していきます。WSの中で、市民と方針等決めながら、モノサシを考えていきます。
P45 基本施策(9)	生きがい活動型デイサービス事業	一人暮らし高齢者、75歳以上高齢者世帯の方などを対象に、日常動作訓練や趣味活動の提供を行い、身体的な機能の低下防止、生きがいづくりの援助を目指します。	長寿課	◎	平成26年度の延べ利用者数は80人で、月最大で3の方が利用しました。平成27年度における2月末時点での延べ利用者数は149人で、月最大で4の方が利用しています。	改善	介護保険の改正による新しい総合事業への移行に伴い、平成28年10月から廃止も含めて見直しをする予定です。
P45 基本施策(9)	「食」の自立事業	一人暮らし高齢者などの健康の保持、食生活の改善、日常生活の助長を図るとともに、安否の確認を行うため、給食の宅配などを行います。	長寿課	◎	平成26年度の延べ利用者数は1,624人、給食数は24,915食です。平成27年度における2月末時点での延べ利用者数は1,647人、給食数は29,523食となっています。	充実	H28年度中に配達業者の選択制を導入する予定です。
P45 基本施策(9)	高齢者福祉浴・歩行浴優待事業	福祉の家にある温泉施設（福祉浴室・歩行浴室）の利用料を年10回無料にします。	長寿課	◎	平成26年度の延べ利用者数4,931人で、平成27年度においては2月末まで、延べ利用者数は4,088人です。	継続	引き続き、健康増進や外出促進を目的に継続していきます。
P45 基本施策(9)	高齢者文化施設優待事業	芸術文化施設を気軽に利用し、美術・芸術に親しむことで、外出の機会や生涯学習活動の促進を図ります。	長寿課	◎	平成26年度の利用延べ人数は、名都美術館738人、トヨタ博物館223人、平成27年度の2月末までの利用延べ人数は名都美術館897人、トヨタ博物館180人が利用しています。	継続	引き続き、生きがい促進を目的に、1年度に名都美術館3回、トヨタ博物館1回の助成を継続していきます。



平成27年度長久手市地域福祉計画 事業評価シート（基本目標4 みんなで「支え合う」喜びを知るまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26～27年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
P47 基本施策(10)	【新規】 支え合いマップの作成 (再掲)	実際に地域に住む人が、地域に困っている人がいるのか、どのような人のつながりや支え合いがあるのかを再確認し、地域の見守り体制の充実を図ります。	福祉施策室	◎	平成26年度、27年度において、各4地区においてマップづくりを行い、地域課題解決に向けた取組みを継続しています。	改善	マップづくりをととした地域における取組みを拡大するため、職員にたいするマップづくりインストラクター研修の実施等の体制強化を検討します。
P47 基本施策(10)	【新規】 地域福祉ポイント制度	ボランティアなどの地域活動への参加にポイントを付与することで、活動への参加を促し、市民が助け合い、地域福祉の向上を目指します。	福祉施策室	◎	対象者、対象活動、ポイント付与、還元方法等を、ボランティア団体等、幅広い意見を取り入れ、事業概要をとりまとめ、平成28年4月から実施を予定しています。	継続	事業への理解を深め、参加者を増加させるための啓発活動、将来的な事業展開等の継続的な見直し、検討が必要です。
P49 基本施策(11)	市内一斉防災訓練	市内全ての小学校を会場として、一斉に避難訓練や避難所運営訓練などを行い、個人、地域、行政、それぞれの役割を確認し、課題を発見することで、市全体の防災力を高めます。	安心安全課	◎	平成26年度は3,349人、平成27年度は、3,483人の参加がありました。開始から、3年間は参加人数及び参加団体ともに増加していることから、今後も継続拡大を図っていきます。	充実	今後は、市民主体の訓練としてより一層役立つような、訓練体制の構築を検討していきます。 また、民生委員等、他課所管委員との連携強化についても検討します。
P49 基本施策(11)	避難所運営ゲーム(HUG) 推進	避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験する避難所運営ゲーム(HUG)を通して、地域における防災意識向上を図ります。	安心安全課	◎	平成26年度は6団体、平成27年度は6団体に対して、HUGを実施。また、市若手職員(専門員以下)に対しても毎年実施しています。	継続	来年度以降も様々な訓練を通して、地域における防災意識の向上を図ります。

平成27年度長久手市地域福祉計画 事業評価シート（基本目標4 みんなで「支え合う」喜びを知るまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26~27年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
P49 基本施策(11)	認知症サポーター養成講座 (再掲)	地域において認知症に関する正しい理解を深め、支援を充実させるための講座を実施します。	長寿課	◎	市内の小学5年生と中学2年生に認知症サポーター養成講座を開講しました。また、市民、市内事業者、市役所職員に対してもサポーター養成講座を行い、日常生活や仕事の中で認知症の方に正しく接することができる「認知症にやさしいまちづくり」に取り組んでいます。	継続	市内の事業者に対してサポーター養成講座を積極的に開講し、「認知症にやさしいお店」の登録店舗の増加を図ります。
P49 基本施策(11)	ファミリーサポートセンター事業 (再掲)	子育て中の親が、仕事と育児を両立し、安心して子育てができる環境をつくります。	子育て支援課	◎	平成26年度は、会員登録講習会を6回開催し、登録会員数は援助会員83人、依頼会員538人、両方会員130人、合計751人、依頼件数は2,727件でした。会員相互の新睦を図るための交流会を1回、援助会員向けのフォローアップ研修会を2回開催し、安心して子育てができる環境づくりに継続的に取り組んでいます。	継続	ファミリーサポートセンター事業の周知に努め、登録会員数の増加を図ります。特に援助会員数の増加に努め、事業の円滑な実施を図ります。
P51 基本施策(12)	避難行動要支援者登録事業	一人暮らし高齢者、障がい者など、災害などの緊急時に支援を要する人を要支援者として登録し、あらかじめ支援団体などに情報提供することで、要支援者が安心して暮らせる環境をつくります。	福祉課	◎	登録者に対して、登録内容の確認を依頼するとともに、支援団体等に対して情報提供を行いました。 平成25年度：登録者数1,148名 (登録率42.4%) 平成26年度：登録者数1,215名 (登録率45.1%)	継続	引き続き事業を実施するとともに、事業の周知も併せて行う。

平成27年度長久手市地域福祉計画 事業評価シート（基本目標5 みんなに「たつせがある」成長できるまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26～27年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
P54 基本施策(13)	ながくて幸せのモノサシづくり(再掲)	市民一人ひとりが生活や地域社会の豊かさなどを測る新しいモノサシを持ち、市民と職員が協働して課題解決するための仕組みづくりを行います。	経営管理課	○	平成26年度は、市民11人、職員10人による「幸せ実感調査隊」でアンケート結果の報告書を作成。平成27年度は、市民21人、職員11人で「幸せ実感広め隊」WSを9回行い、述べ160人が参加。長久手の幸せづくりにつながる活動に取り組む市民やグループ8団体を取材し、7団体を紹介しました。	継続	「幸せ実感広め隊」活動において、長久手の幸せづくりにつながる活動を紹介することで、「幸せのモノサシづくり」への参加と理解を広め、まちづくりを推進していきます。WSの中で、市民と方針等決めながら、モノサシを考えていきます。
P54 基本施策(13)	住民プロジェクト推進事業	若い世代を中心とした市民ワークショップを通じて、地域課題に対応したプロジェクトを企画・実施することで、次世代のまちづくりの担い手を発掘・育成し、市民一人ひとりに役割と居場所のあるまちの仕組みづくりを進めます。	たつせがある課	◎	月に1回、若手市民と職員が、ともに地域のことを考え、対話する機会を持ちながら、自主プロジェクトを実践したり、地域のまちづくり活動へ主体的に参加しています。	継続	平成28年度以降、本事業の予算措置は行わないが、事業を機にできた市民と職員のチーム「なでラボ」が、自主的にまちづくり活動に対し、市は情報や場の提供等の支援を行います。
P54 基本施策(13)	大学連携の推進	市内及び近隣に数多くある大学を地域資源として、また、学生と市民との交流を通してまちづくりに生かすよう連携事業を進めます。	たつせがある課	◎	市内4大学との連携を深めるために大学連携推進協議会を設置し、市長秘書インターンシップや市長賞授与を実施しています。各課と大学及び学生の連携事業情報の収集に努めています。	継続	市、大学(学生)、市民及び企業が連携し、協働するまちづくりを推進するため、大学連携基本計画の策定を進めます。
P54 基本施策(13)	【新規】 地域福祉計画の推進	地域福祉計画の策定、推進を通して、地域内のネットワークづくりや住民同士の支援活動を広げ、福祉施策の総合的な推進を目指します。	福祉施策室	◎	社会福祉協議会と連携し、地域のネットワークづくり、市民活動への支援を進め、計画の総合的な推進を進めています。	継続	次期計画策定に向け、市民が主体となった計画づくり、活動につなげるため計画の推進を図ります。



平成27年度長久手市地域福祉計画 事業評価シート（基本目標5 みんなに「たつせがある」成長できるまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26～27年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
P54 基本施策(13)	地域と関わりのある学校行事（ふれあい学級（東小）、校区運動会、ボランティア感謝の会）	親子でのスポーツ、体験活動を通じて、地域の方とふれあい、交流することで地域との連携を深めます。登下校時の見守りをしてくれる地域の方に、児童から感謝の意を表します。	教育総務課	◎	全小学校区において校区運動会を実施（東小は、地区との合同運動会）、また、登下校の見守りのボランティアの方へ、児童会運営による感謝の会を実施しました。東小では、地域伝統芸能の継承を目的に地域在住の方を講師に、ざい踊り等も実施しました。	継続	引き続き、地域と関わる学校行事を実施し、地域の方とふれあい、連携を深めていきます。
P54 基本施策(13)	キャラバン・メイト／認知症サポーター養成研修事業	認知症を正しく理解し、認知症の方やご家族をあたたく見守る「認知症サポーター」や講師役の「キャラバン・メイト」を養成します。	長寿課	◎	小学5年生、中学2年生への養成講座を実施、平成26年度からは市民向けに、平成27年度は商工会の協力のもと事業所の方にも参加いただいています。また、要望に基づき地域の団体、事業所に講座を実施しています。キャラバンメイト養成研修については、平成26年度に実施しました。	継続	引き続き講座を実施。事業所への講座への参加の拡充を検討していきます。
P54 基本施策(13)	【新規】 健康マイレージ事業	市民、事業者、行政などが連携し、高齢になっても元気に日常生活が送れるよう日頃からの健康づくりへの取組みを支援します。	健康推進課	○	平成27年度後半期に実施する予定でしたが、市内店舗等や各課等との調整が遅れました。抽選特典に市内16店舗等が協力の意向を示してくれました。	継続	平成28年4月から実施しますが、平成28年度前半期に参加者からのアンケート等で意見を確認し、後半期の事業に活かしていきます。
P56 基本施策(14)	地域共生ステーション事業 (再掲)	市民が集まり、語り、地域のための取組を行う拠点となる地域共生ステーションを各小学校区に整備し、地域の課題を地域で考え地域で取り組むまちづくりを推進します。	たつせがある課	◎	北小学校区では、部会を5回、北ステフェスタや宿題イベント、おためし会等、ステーション開設に向けたソフト面の取組を行っていました。南小学校区では、まちあるきを1回、南のステーション検討会を3回実施しました。市が洞小学校区では、ワークショップを1回実施、3月に2回実施しており、市民の意見を設計に取り入れます。	継続	引き続き、地域共生ステーションを各小学校区に整備するにあたり、市民ワークショップ等を実施します。



平成27年度長久手市地域福祉計画 事業評価シート（基本目標5 みんなに「たつせがある」成長できるまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26~27年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
P56 基本施策(14)	【新規】 支え合いマップの作成 (再掲)	実際に地域に住む人が、地域に困っている人がいるのか、どのような人のつながりや支え合いがあるのかを再確認し、地域の見守り体制の充実を図ります。	福祉施策室	◎	平成26年度、27年度において、各4地区においてマップづくりを行い、地域課題解決に向けた取組みを継続しています。	改善	マップづくりをととした地域における取組みを拡大するため、職員にたいするマップづくりインストラクター研修の実施等の体制強化を検討します。
P56 基本施策(14)	【新規】 障がい者就労施設などからの 物品などの調達	物品及び役務の調達において、障害者就労施設などからの提供機会の拡大を図り、障がい者の自立の促進を図ります。	福祉課	◎	物品（食品類等）や役務（印刷物等）について障がい者就労施設から調達しました。 (平成26年調達実績：944,403円)	継続	引き続き提供機会の拡大を図り、障がい者の自立の促進を図ります。
P56 基本施策(14)	障がい福祉事業所による 物品販売会	公共施設などにおいて、市内の障がい福祉事業所による販売会を定期的開催します。また、市役所における物品販売会も開催し、障がい者への理解を深め、障がい者の社会参加を推進します。	福祉課	◎	市役所（毎月第1・3金曜日）及び福祉の家（毎月26日）にて販売会を開催。また、各種イベントや地元企業等とも連携するなど、随時出張出店も随時実施しています。	継続	引き続き、出張出展等を実施するなどして、障がい者への理解を深め、障がい者の社会参加を推進します。
P58 基本施策(15)	社会福祉協議会補助事業	市の福祉行政において大きな役割を担っている社協に、社会福祉の推進を目的とする事業費などを補助します。	福祉施策室	◎	社会福祉協議会の職員体制の充実を図ると共に、地域福祉推進のための情報共有、連携に努めています。 平成25年度補助金額：62,899千円 平成26年度補助金額：86,378千円 平成27年度補助金額：97,591千円	継続	今後も市福祉行政において大きな役割を担うことを期待し、事業の必要性を精査しながら必要額を補助します。
P58 基本施策(15)	【新規】 地域福祉学習会	地区社協の設置に向けて、社協が各小学校区で開催する学習会の運営を支援します。 地域住民と社協職員・市職員が共に学び、地域の現状や課題について話し合うとともに、情報共有やネットワークづくりの場として活用します。	福祉施策室	◎	平成25年度から、西小、北小、市が洞小学校区において、月1回の地域福祉学習会を実施し、平成27年度に3小学校区において、地区社協を設立しました。	継続	残り3小学校区においても、地区社協設置に向けた学習会に随時取り組むための支援を行います。